

2024年度 経済工学演習 についてのガイダンス

2023年12月12日

九州大学 経済学部 経済工学科

藤田敏之

tfujita@econ.kyushu-u.ac.jp



今日やりたいこと

1. 自己紹介
2. シラバスの簡単な説明
3. ゼミについての注意事項
4. 質疑応答など

藤田の自己紹介

1999年から九州大学経済学部・学府で主に環境経済学の研究・教育に携わる。主要な研究テーマは地球環境対策の国際協力に関するゲーム理論的分析である。主な担当科目は学部，大学院での環境経済学，ミクロ経済学(ゲーム理論)など

理系(工学部)出身で大学では数理工学，ORを学ぶ(そのため1・2年生向けの微分積分，線形代数の講義なども担当)。環境に関連した数多くの全学のプロジェクトに関わってきたほか，2009年からは統合新領域学府の専任教員も兼ねている

大学院に入学した頃から偶然の所産として地球環境問題の数理的分析についての研究を行うが，その過程でゲーム理論をはじめとする経済学的手法に出会い，研究内容が徐々に工学から経済学にシフトしていく(そして今では縁あって経済学部にお世話になっている)

研究室はイースト2号館4FのE-E-426ですが2020年度からは在宅で仕事をすることが多いです

シラバスの説明(1)

授業の概要

教員の専門である環境経済学とゲーム理論の入門から中級までの内容を学ぶ。3年ゼミでは教科書を読み、環境経済学とゲーム理論の基本的内容をしっかり身につける。4年ゼミでは3年次の学習を踏まえて環境のゲーム理論的分析に関する論文や研究書を読み、専門的な分野にふみこんで学習する。年度末には全員にレポート(2000字程度)を課す

授業計画

前期、後期ともに以下の予定を進める。もちろん受講者数によって細かいスケジュールは変化する

(1つの例)

第1回・・・ガイダンス, 自己紹介

第2回, 第3回・・・教員による補足的講義

第4回以降・・・受講者による報告および討論

シラバスの説明(2)

授業の進め方

演習形式で行う。教員が講義をするのではなく、テキストの章を割り当てられた受講者の発表と討論によって授業を進める。報告者が責任をもった報告を行うことと受講者の積極的な参加を希望する

※例年、ゼミが発表者と教員の問答に終始し、ほとんど質問が出ない状況が続いていたので、2020年度以降のゼミでは活性化をはかるべく、以下の工夫を行ったが、ある程度の成果が得られているような気がする

- ・個人ではなく、グループ(2人1組)での報告
- ・緊張感をもたせるため、報告者に他の参加者への質問を用意してもらう

※今年度の3年ゼミ受講生は6名なので、1人での報告になっている

※ゼミの実施方法については対面が望ましいと考えているが、今年度はコロナやインフルエンザ感染の状況によって、対面およびオンラインの混合方式もとりにいれており、来年度もそのようになる可能性がある

シラバスの説明(3)

教科書

前期：栗山・馬奈木『環境経済学をつかむ』有斐閣

後期：岡田『ゲーム理論』有斐閣アルマ

を今年度使っているが、変更の可能性あり

※テキストは本または電子形式で配布するので、買う必要はありません

ゼミの企画, その他特記事項

本ゼミではすべての受講生が卒業時に胸を張って専門的な学習ができたと言えるようなレベルに達することを目指し, そのサポートをする. 学習や研究に強い意欲をもつ学生と一緒に学んでいきたい. ゼミ生が将来自分の研究仲間となって, とともに刺激しあうというのが私の夢である. 各種企画は受講生の意欲や希望に応じて検討する

※過去は大学院進学を希望する学生を歓迎することを募集要項で強調したが, どうも空回りしているので, その点にはこだわらない

シラバスの説明(4)

成績評価基準

出席, 発表内容, 受講態度, 年度末レポートを総合的に評価

出席を重視する. やむを得ない事情で欠席するときは事前に連絡して

ください(その場合は欠席0.5回とみなす). 最近の成績評価基準は以下の通り

(年間の)欠席2回以下・・・基本的にA, よほど発表内容, レポートの出来が悪く, ほとんど発言がないなどの場合, Bもありうる

欠席3~4回・・・デフォルトはB, ただし発表内容やゼミ中の発言, レポート内容によってAやCもありうる

欠席5~6回・・・デフォルトはC, その他は上と同じ

欠席7~10回・・・デフォルトはD, さらに他の評価も悪ければ追加課題を課すかもしれない

欠席11回以上・・・単位をとる資格なし

※上記のルールがありながらも, 結構欠席が多いです・・・

シラバスの説明(5)

応募に当たっての注意

参加を希望する学生は、説明会に出席した後に申込書で以下を明記してください。選考にあたって、**成績よりも申込書の内容を重視します**

1. これまでの学生生活(400字以上)
2. 環境経済学またはゲーム理論に対する想い(600字以上)
3. 趣味などについての特記事項, アピールポイント(任意)

やむを得ない理由で説明会に参加できない学生はメールでご連絡ください(皆さんの知り合いでそういう人がいればお伝えください)。面談をする必要はありませんが、説明会動画を視聴してもらいます。動画は録画しますが非公開にし、必要な学生のみが閲覧できるようにします

※なるべく申込書の空白部分がないように、詳しく書いてくれるとうれしいです(過去に書き直しをお願いしたこともあります)

※受け入れ人数は例年10人程度を上限としています

注意事項

- ・私から連絡するときはmoodleのアナウンスメントを使いことが多いので、全学基本メールをチェックする習慣をつけてください
- ・連絡したいことがあれば、私にメールしてください。アドレスは tfujita@econ.kyushu-u.ac.jp です。 fujita.toshiyuki.865@m.kyushu-u.ac.jp でもよいです (econのアドレスに転送されるだけ)
- ・内職は極力避けましょう。人の話をきくのも重要です
- ・スライドをしっかりとって、なるべく早く私に送ってください
- ・スライドだけを見て発表できるようにしましょう。テキストの読み上げはダメです

では皆様の参加申し込みをお待ちしています！